

# 第 20 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

## 開催案内

第 20 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

テーマ： 社会とバイオセーフティ

会長 前田 秋彦

### ご挨拶

昨年度予定しておりました第 20 回目の日本バイオセーフティ学会の総会・学術集会は残念ながら本年度に延期となりました。本年度は気分を新たに大役を担当させていただくことになりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。会期は 2021 年 11 月 30 日(火)～12 月 2 日(木)の 3 日間、場所は京都市にある京都産業大学むすびわざ館を予定しております。「むすびわざ」の語源は「新しい業(わざ)を産(む)す」に由来します。「むすびわざ館」は新しい業(わざ)を、価値を、そして人材を産み出すために、学内外の様々な知恵が集う場、社会と共創し合う場として開館されました。本施設で日本バイオセーフティ学会を開催できることを大変、嬉しく思います。2020 年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の国際的な流行により年が明け、2021 年 5 月現在、関西圏においても 3 回目の緊急事態宣言の真っ只中にあり、収束の目途がまだ立っていない状況です。ワクチン接種が順調に進み、社会的な混乱も、本総会を開催する 11 月の末から 12 月のはじめには、この大禍も収まっていることと期待しております。

さて、20 回目の本総会・学術集会では、昨年にご予定していた通り、バイオセーフティに関わる多くの関係者の方々が、バイオセーフティに関して、広く、活発な議論できる場にしていただければ幸いに思っております。その上で、医療や獣医療、製薬や食品、ペストコントロール、教育等それぞれ実際の現場におけるバイオセーフティの現状について把握するとともに、日本の未来社会におけるバイオセーフティの発展と普及に寄与できないかと考えております。また、近年の世界的な公衆衛生は、“One world, One health”の理念の下で、人と動物、環境に関して“Well-being”な状態の達成を目指しています。これまでに発生した感染症や、これから発生するかもしれない感染症の制御においても、巨視的な視点に立った対策が必要であると考え、本総会のテーマ

を「社会とバイオセーフティ」としました。今回は特に COVID-19 のシンポジウムや、新型インフルエンザの流行時の行政対応などの講演も企画しております。また、例年通り、一般演題と機器・機材展示等も予定しておりますので、皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。時節がら、講演の形式は従来の対面によるものとリモートによる併用を考えております。本総会がバイオセーフティの発展のための学術集会として重要な機会となることを期待し、一人でも多くの方々に御参加いただくことを祈念いたしております。